

事務事業評価表

○基礎情報

課名		図書館	作成責任者		常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	7	地域社会を支える情報拠点としての機能をたかめる	湯澤 さいみ		管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
					1 人	14 人	5 人	28 人	19 人	1,202 時間	7.2 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画の現状値	目標値(30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
図書館利用者数	297,412人	330,000人	294,485人	297,412人	335,395人	330,234人
図書館の市民登録率	54.2%	55.0%	52.9%	54.2%	55.8%	57.2%

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業
- ・ 実績 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかったなし

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28業棚選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点								
1	施設維持管理及び運営事業(本館)	利用者の利便向上及び図書館の快適な環境保持する。	定例・定型的事業				1.23	一般	27,701,375	開館日数	290日以上	293日	S	
									25,319,377					
2	施設維持管理及び運営事業(分館)	利用者の利便向上及び香川分館の快適な環境保持する。	定例・定型的事業				0.45	一般	323,612	開館日数	295日以上	297日	S	
									277,233					
3	会議室の利用貸出事業	社会教育等団体へ活動場所を提供する。	定例・定型的事業				0.59	一般	0 ----- 0	利用申請受付件数	1,200件	1,097件	S	
4	図書館協議会事業	地域の状況を踏まえ、利用者の声を十分に反映した図書館を運営するために開催する。	定例・定型的事業				0.41	一般	160,000 ----- 160,000	協議会の開催数	4回	4回	S	
5	図書館資料収集事業(本館)	図書、記録その他必要な資料を収集、整理、保存し、一般公衆に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために実施する。	定例・定型的事業				1.69	一般	32,323,932	購入図書冊数	13,750冊	14,798冊	S	
									32,230,431					
6	図書館資料収集事業(分館)	図書、記録その他必要な資料を収集、整理、保存し、一般公衆に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために実施する。	定例・定型的事業				0.74	一般	2,806,984	購入図書冊数	1,800冊以上	1,512冊	S	
									2,796,235					

7	図書館利用及び貸出事業(本館)	収集した図書資料を市民が利用して教養や知識を高め、教育と文化の発展を図る。	定例・定型的事業				20.93	一般	36,132,922 ----- 35,911,609	資料貸出点数	640,000点	562,536点	B	
8	図書館利用及び貸出事業(分館)	収集した図書資料を市民が利用して教養や知識を高め、教育と文化の発展を図る。	定例・定型的事業				2.42	一般	2,752,000 ----- 2,750,574	資料貸出点数	145,500点	128,830点	S	
9	移動図書館運営事業	図書館を利用することが困難な遠隔地の住民を対象に図書の貸出を行う。	定例・定型的事業				3.87	一般	1,121,980 ----- 1,389,061	貸出点数	17,000点	16,553点	S	
10	図書室、図書コーナー運営事業	全ての市民が利用しやすいよう、身近な地域に図書施設を設置する。	定例・定型的事業				4.07	一般	29,107,354 ----- 27,435,611	貸出点数(分室合計)	250,000点	346,096点	S	
11	図書館自主事業(本館)	生涯学習のきっかけづくりと推進を目的に行う。	定例・定型的事業				1.64	一般	171,980 ----- 130,195	自主事業の開催数	25事業	38事業	S	
12	図書館自主事業(分館)	親子や子どもを対象に、主に子育て支援のための事業を実施する。	定例・定型的事業				0.45	一般	30,000 ----- 30,000	自主事業の開催数	3事業	4事業	S	
13	視聴覚資料事業	CDやDVDなどの視聴覚資料を収集し、地域の団体や市民へ貸出を行うことにより、市民の生涯学習活動を支援する。	定例・定型的事業				0.70	一般	2,157,757 ----- 2,156,484	映画会の実施回数	37回	38回	S	
14	各図書館協会事務事業	図書館職員のスキルアップを図るため、研修、情報交換を行う。	定例・定型的事業				0.06	一般	67,000 ----- 67,000	研修等への参加回数	11回	9回	S	
15	図書館の相互利用事業	市民の生涯学習意欲の向上と図書館利用者の利便性を向上させる。	定例・定型的事業				0.68	一般	46,440 ----- 37,746	相互利用冊数	19,800冊	21,346冊	S	
16	子ども読書活動推進事業	子どもたちが自主的に読書活動に取り組むことができるような環境を進めるとともに社会的な機運を醸成するための普及啓発に取組、子どもの穏やかな成長に資することを目標として実施する。	定例・定型的事業				1.66	一般	2,631,585 ----- 2,601,218	ブックスタートパック配布率	80%	77%	S	
17	災害応急対策活動(本館・分館)	-	定例・定型的事業				0.05	一般	0 ----- 0	-	-	-		
18	庁内共回事務(本館)	-	定例・定型的事業				0.54	一般	84,000 ----- 43,866	-	-	-		
19	庁内共回事務(分館)	-	定例・定型的事業				0.12	一般	7,000 ----- 7,887	-	-	-		
合計							42.29	予算 決算 繰越	137,625,921 ----- 133,344,527 ----- -					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>図書館の平成28年度における事業数は19事業であり、「災害応急活動」「庁内共通事務」「部内共通事務」を除くと16事業である。これらの事業の評価結果は、「S」15事業、「B」1事業であり、全ての事業において目標値の80%を達したことになり、概ね順調に事業を実施することができたものと見て可以的。その中で、自主事業の開催数や視聴覚事業における映画会実施回数は、目標値を超え、単に本の貸出だけの利用ではなく、市民の学習活動の活性化を促す役割を果たしていると言える。特に、自主事業については、地元書店やNPO団体と協力しながら、「本がだいすきプロジェクト」を始動し、まなびの市民講師、大学、市民団体等との連携により、費用をかけずに多くの講座を実施することができた。</p> <p>「B」評価となったのは、「図書館利用及び貸出事業(本館)」である。貸出に関しては、本館・分館だけでなく、公民館等に併設された図書室計12か所と移動図書館でも貸出を行っており、これらの施設は、図書館ネットワークで結ばれ、予約資料をどこでも貸出・返却できるようになっているため、自宅から身近な場所で図書館資料を受け取る傾向が増えている。このため、貸出に特化すると、利用者が減っているように思われるが、実際には閲覧を目的とした利用者や、講座・イベント等のために来館する方等で、滞在型の利用が増え、図書館は賑わっている状況である。こういった傾向は、本市に限ったことでなく、全国的にも貸出し主体から滞在型に転換を図る図書館が増えていることから、図書館のあり方が変わってきていることが伺える。一方で、読書相談、レファレンス等、専門性が問われる部分も重要であり、これに対応するため、本館カウンターに総合案内窓口を開設したほか、運営手法についても検討し、一部の臨時職員を残し、非常勤嘱託職員化を図った。これにより、窓口サービスの向上については、今後成果が見込めるものである。</p> <p>また、来館できない利用者へのサービスについて、J:COM湘南と連携した家庭配本サービスを実施したり、子ども読書活動推進事業におけるアウトリーチ(ブックスタート、保育園や学校への団体貸出、出張おはなし会、中学校へのブックトーク等)も積極的に実施しているが、今後も継続的に実施するためには、市民ボランティアや企業の協力が必要であり、職員のコミュニケーション力が問われるところである。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
7	図書館利用及び貸出事業(本館)	本館1階カウンターに総合案内窓口を開設し、図書館業務に関する様々な相談を受けられるよう職員が常駐することで、サービスの向上を図った。また、29年度から一部の臨時職員を非常勤嘱託職員とするための検討、試験等を実施し、業務の効率化を図るとともに、より働きやすい勤務条件となるよう整えた。
13	視聴覚資料事業	視聴覚資料に関する例規整備については、例規点検の際に課内検討委員会で協議した。視聴覚ライブラリーの内容について、現在制定されている要領等を再確認のうえ、他市の状況を踏まえて、平成30年度より必要に応じて図書館規則第2条の改正等について検討することとした。また、視聴覚機材の整理については、映像や音声に不備があり貸出に適さない116ミリフィルムを7本、不要な視聴覚機材及び消耗品等の処分を行い、視聴覚準備室においてスペースの確保を行った。
16	子ども読書活動推進事業	第2次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画を平成28年4月に策定し、小学校の就学時健康診断において、全ての就学予定者(保護者)へ概要版を配布した。また、関係課やボランティアとも連携して読書活動の推進を行った。図書館職員による子育て支援センターでの出張おはなし会は、実施場所が1施設増えたほか、コミュニティセンターや民間施設でも実施した。

5 新たな行政改革重点推進事業(本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます)

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-